

今年も、あと1ヶ月になりました。寒さが厳しくなってきましたが、子どもたちは、元気に運動場で遊んでいます。先日実施した、靴箱と教室前の手洗い場の「きれいきれいコンテスト」では、5・6年生が見事に優秀賞にかがやきました。現在、トイレのスリッパをそろえる取組を行っています。「歯磨きすると気持ちがいい」と同じように、よい習慣として「はき物をそろえると気持ちがいい」となるまで続けたいと思っています。ご家庭でも、ご協力よろしくお願ひいたします。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

○確かな学力の向上に努めます ○教職員の資質向上 11/21

大きい数を10のまとまりにしたら はわい! 1年

1年生の算数で、確実に身に付けてほしい「くりあがりのたしざん」について、研究授業を行いました。「 $9+3=12$ や $8+3=11$ 」の問題で、おはじきを操作したり図にかいたりして、9や8を10のまとまりに変身させる方法を習いました。その後、 $4+8=12$ の計算のやり方を考えたとき、4を10のまとまりにする子と、8を10のまとまりにする子がいました。うしろの8を10のまとまりに変身させてもいいのかどうか、1年生なりにしっかり話し合いました。事後討議で、講師の貝塚市教委学校人権教育課長の鈴木司郎先生から、本時の目標の立て方や言語活動を充実させるために必要な指導者の支援について、ご指導いただきました。



○ぼくは、大きいかずのほうを10のまとまりにしたらいいとおもいます。どっちに10のまとまりをつくってもいいとおもいます。
○はやく10のまとまりをつくれるいいほうほうが、わかりました。すばやくこたえがでたので、よかったです。
○わたしは、チャレンジもんだいを、じぶんでかんがえることができました。いつもよりむずかしかったけど、できました。

○豊かな心を育みます 11/9

連合音楽会に出演 4年

4年生は、表現力抜群の歌声を響かせてきました。



○ぼくは、心に「成功」と「皆の思い」を入れて、連合音楽会にいどみました。緊張していたけれど、楽しい面もありました。緊張は、皆に見られることでした。うれしいのは、葛城小学校で同じ学年だった人に見てもらえることです。舞台に立つと全然緊張しませんでした。「ふるさとの小学校」に見られてうれしかったです。
○朝は全然緊張しなかったのに、バスに乗っていると、ドキドキしてきました。東山小学校の代表としていくので、それもふくめて緊張しました。3年生からもらったお守りをポケットに入れて歌ったので、緊張はしたけど、やる気が出ました。

○小中連携を推進します 11/27

第三中学校体験入学 6年

6年生が、中学校での生活を聞いたり、各教室に分かれて、中学校の先生の授業を受けたりしました。



○授業体験で、どういう勉強をしているのかがわかった。クラブでは、たくさんの種類があったのですごと思った。それと、葛城小学校や木島小学校のみんなと会えてよかった。また交流したい。
○中学校では、英語はとってもむずかしいと思ったけど、体験してみたら、楽しかったから少し自信がついた。
○国語の勉強で、漢字の意味がもっとわかった。自分のオリジナルな漢字を作って楽しかった。漢字のたし算も意味が分かった。漢字はすばらしいなあと思った。

○豊かな心を育みます 11/30

東山まつりに幼児さんも来たよ

児童委員会の取組で、1～6年生までが、自分たちで考えたお店やコーナーを出し合いました。当日までの準備や他学年との交流が子どもたちに企画力や協調性、コミュニケーション力を培います。子どもたちは店番をしたり、お客になったりしながら、楽しみました。

今年は、保幼小連携の一環として、木島西幼稚園・葛城幼稚園・木島保育所の幼児さんたち約70名が、1年生と一緒にお店をまわりました。



○豊かな心を育みます ○教職員の資質向上 11/28

解体新書はこうしてできたんだ 6年社会

江戸時代に、オランダ語による人体解剖書「ターヘル・アナトミア」と当時日本で信じられていた漢方の医書の人体図が、全く異なっていることに疑問を感じた杉田玄白、前野良沢らが、腑分けの見学を通して、「解体新書」を刊行させました。腑分けを見学している教科書の挿絵や杉田玄白の「蘭学事始」の文面から、差別されていた人びとが蘭学の発展に寄与したことに気づく授業をしました。

講師の東小学校の西出佳央先生から、人権学習を進めるにあたって、「『誰がどうした』という説明や考え方ができるような、主語を大切に授業」、「出会った教材、友だちの考えや思いなどを重ねて、自分の生き方を考えるような授業」を心がけるよう講話していただきました。



○ぼくは、腑分けをした人(虎松の祖父)がいたからこそ、解剖図の説明ができて、「これがなにか」ということがよくわかったんだとわかった。
○腑分けは、医者でなく差別されていた人が行っていた。腑分けした人も、龍安寺の石庭を造った人たちのように、すぐれた技術をもっていた。

沖縄県から教育視察

11/29

沖縄県の本部町教頭会・名護市教頭会・本部町教育委員会から7名の教頭先生と指導主事の方が教育視察にこられました。授業のユニバーサルデザインについて、本校が研究している内容を紹介し、4年生の算数の授業(分数)を参観していただきました。「予習」や「かがやきノート」「授業規律」などを、自校でも早速取り入れたいといっていました。



○豊かな心を育みます 11/13・14

中学生の職業体験

三中の2年生5人が、1、2年の各クラスで職業体験をしました。中学校での指導をしっかりと守り、言葉遣いや態度は、立派でした。



中学生からの礼状より(一部)

はじめ、きれいな学校で緊張していましたが、集会での先生二人による漫才を見させてもらい、爆笑してしまいました。職員室でも、先生方に明るく優しく接していただき、「ああ、先生って、先生同士でも仲がよく楽しそう!」と思いました。(略)児童が帰った後も、丸付けや掲示物の張り替えという仕事があったり、九九を覚えるために、待ち時間などで練習できるように工夫していたりと、中学生になった今だからこそわかる先生の苦労やうれしさをたくさん教えていただきました。